

会議（打合せ）報告書

会議(打合せ)の名称 又は議題	令和3年第15回 議会運営委員会		
報告者職氏名	主事 小原 陽子		
日 時	令和3年4月30日(金) 午前10時00分	場 所	市役所本庁舎4階 大委員会室
出席者	出席者 血脇敏行委員長、柴田圭子副委員長、古澤由紀子委員、岩田典之委員、石井恵子委員、植村 博委員、田中和八委員、秋谷公臣委員、徳本光香委員 長谷川議長、伊藤副議長		
欠席者	なし		
事務局	石井事務局長、今井主査、小原		
【会議の概要】			
議題			
(1) タブレットにかかる予算計上について			
(2) その他			
《決定事項等》			
(1) タブレットにかかる予算計上について			
○執行部に提出予定の目的・スケジュール(案)について			
「3月でペーパーレス化」を削除し、戦略会議に提出する			
○機種について			
・次回までに会派で意見を取りまとめること			
・事務局にiPad Pro11インチ、iPad Airの見積徴取を依頼 (セルラーとWi-Fi)			

午前 10 時 00 分 開 会

石井事務局長 本日は早朝よりお集まりいただきましてありがとうございます。

会議に先立ちまして、血協委員長よりご挨拶をお願いいたします。

血協委員長 =あいさつ=

石井事務局長 それでは、議事等につきましては血協委員長をお願いいたします。

血協委員長 ただいまの出席は 9 名でございます。委員会条例第 16 条の規定により、定足数に達しております。

これより、令和 3 年第 15 回議会運営委員会を開会いたします。

本日の会議はお手元に配付の議題のとおりです。

古澤委員 議題に入る前に、ひとつ質問があるのですけれども、よろしいでしょうか。

今回の議運の開催に関しましては、まず最初に、議題が「タブレット導入に対し新型コロナ臨時交付金を活用することの可否について」という…。

〔「議運で携帯見たらまずいのじゃないの」と言う者あり〕

古澤委員 すみません、紙がなかったものですから、それに関しては。いいですか。

そういう形で来ているのですけれども、変更の形で、今度、「タブレット導入にかかる予算計上について」と来ました。その変更の経緯を、まず説明していただきたいと思います。

どうしてそういう、微妙に内容が違うのかなと思ひまして、お聞きしたいと思ひます。

血協委員長 それでは、まず私から、一番最初に流れたもの、交付金の活用の可否というような内容だったかと思ひます。これについては、事務局から案内で事前にお知らせということで出したのですが、議運の中で交付金の活用ですとか、一般財源の活用とか、そういうことが議論されて、結果が出ているものだというところで、改めて事務局のほうから訂正の文面を流させていただいたところです。

事務局から何かございましたらお願いいたします。

石井事務局長 御指摘のとおり、最初、皆様の日程調整をさせていただいたときに、臨時交付金活用の可否ということで、出席をお願いした経緯がございます。

議題につきましても、そのままその文言を使って出してしまったところがございますが、今、委員長がおっしゃったように、予算計上にあたって執行部の判断に委ねるというような決定が 3 月 22 日の会議でされておりましたことから、議題のほうを改めさせていただきまして、タブレット導入にかかる予算計上についてということで改めさせていただいたところでございます。

古澤委員 ただいま、石井局長からご説明がありましたが、前々回か前回にかけて決まったのは、公金で支払うということだったと思うのですね。交付金は。

石井事務局長 3 月 22 日の決定事項の中に、予算計上にあたりまして、予算は、市の予算による契約となってくるということで、調達方法、購入・リースの別等については執行部の判断となります、そういう決定をさせていただいております。

古澤委員 ですから、市単独の財源を使うということとか、交付金を使うとか、そういうことに関しては一切触れていなかったと思うのです。決まっていなかったと思うのです、市のほうに任せるということで、そうすると、交付金を活用する可否という文言が出てきたからには、そこがどこかで問題になっていたのかなと思っています。それはなかったのですか。

石井事務局長 ヒアリングさせていただいた中で、執行部から、今回の導入にあたりましては、当初、事務局はリースで提案しております。それが、執行部のほうでは、コロナ交付金を活用した一括購入ということで話がございましたので、コロナ交付金を活用するというについて、前回予算計上するということを決めさせていただいたときに、私のほうで再度確認しておけばよかったなと思っておりますが、その点については、特に問題になっていたということではございません。事務局としては、コロナ交付金を活用するというで、議員の皆様にお知らせをしたかったというところがございます、統一を図れば、なお効率がよいというところがございます。

古澤委員 では、執行部からは、コロナ交付金を使うということに関しての承諾といえますか、同意というか、それは得ているということですか。

今おっしゃったように、リースではいけないとか、そういう細かな条件はあると思えますけれども、基本的に使うことはやぶさかではないと、そう受け取っていいのかどうか。

石井事務局長 今回のタブレットの予算につきましては、当初、政務活動費等でということで進めていたところがございます、正直申し上げまして、その時点でまだ市の財政推計等にこの計画が入っていないという状況でございました。

そういった中で、そういうこともあると思えますけれども、導入するのであれば執行部としては一般財源ではなく、コロナ交付金で、市としては一括購入で考えるという提案があったところです。

古澤委員 今年度、財政推計にタブレット購入ということが検討されていないので、市の単独の財源からは出せないということは聞いています。交付金を活用するしかありませんよという形の返事ですよ。

石井事務局長 それが、決定事項という形でタブレット導入にあたっては、コロナ交付金を活用した一括購入をするというような執行部の考えでございます。

古澤委員 わかりました。

血脇委員長 この後に、事務局長のほうから、ヒアリングをおこなった結果の報告等がございますので、その中で、コロナの交付金の活用ですとか、そのあたりの説明をしていただけるということになりますので、よろしくお願ひします。

それでは、先に進めてまいります。

◎議題1 タブレット導入にかかる予算計上について

血脇委員長 前回の議運において、タブレット導入に関わる費用を6月補正に向けて予算要求するということが決定して、事務局より執行部に要求をおこなっていただいたところでご

ございます。この予算要求に関するヒアリングが先般行われまして、そのヒアリングの結果について、事務局より説明をお願いしたいと思っておりますので、石井事務局長お願いいたします。
石井事務局長 それでは改めまして、「予算のヒアリング結果について」という資料がございますので、こちらをまずご覧いただきたいと思っております。

タブレット予算に係るヒアリング結果について、決定した事項をまず報告させていただきたいと思っております。

決定事項1といたしましては、タブレットの導入にあたってはコロナ交付金を活用した一括購入とすることになりました。これを受けまして、コロナ交付金の活用にあたっては5月10日に開催されます政策会議にかける必要が出てきました。これに伴いまして、タブレットの導入目的を、若干、リモート対応をメインに調整させていただきたいと思っておりますので、別添のほうに、案を付けさせていただきましたので、こちらのほうにご意見をいただきたいと思っております。

決定事項2として、機種の見直しをすることとなりました。機種につきましては、一番上位の機種が本当に必要なのかというような指摘もございまして、再検討することになったものでございます。今回のヒアリングにあたる予算計上につきましては、タブレットの導入見積というA3の資料がございますので、そちらをご覧いただきたいと思っております。

まず、リース3年契約、604万3,840円というのが、今回のヒアリングにあたり3年リースを想定して予算要求をしたものでございます。要求の内容には、保護フィルムや保護ケースなどの付属品や、ヘルプデスクなどの費用も計上しておりましたが、ヒアリングの中で、必要最低限の経費ということで、本体、ペンシル、初期設定、管理者講習会、これも内容を精査の上ということになりますが、計上となります。

これを受けまして、一括購入の場合、金額はどのくらいなのかということで、下段になりますが、同機種を購入で一括購入いたしますと、369万1,600円プラス月額セキュリティ費用というのが掛かってくるという見込みでおります。なお、12.9インチ、近々モデルチェンジもございまして、若干増額になってしまうというような情報もございまして、

以上がヒアリング決定事項でございます。

次に、指摘事項として、導入目的の議員活動の拡充については、議員の私的な活用に市の貸与品を使うのか、との指摘がございました。これについては、使用基準の中でご議論いただければと思っております。

また、会議システム、使用方法等が決まった上で予算化すべきであるという指摘もあり、会議システム、使用方法についても早急に検討していきたいと考えております。本日は、導入の目的と機種の見直しということにつきまして、ご意見を頂ければと思っております。

委員長よろしくお願いたします。

血脇委員長 局長、一点確認です。導入の目的の変更ということなのですが、コロナの交付金を使用するにあたって、今までの目的だけでは不足があるからというような状況なのかどうか。

石井事務局長 ヒアリングにおきまして、やはりコロナ交付金活用ということになりますと、オンライン会議の状況ですとかを考えているのかというようなことがございましたので、議会では、災害対応会議ですとか、各種会議でのオンライン会議、zoom 会議の予定等もあるというところでお話をさせていただきました。目的、議会運営の効率化という中で、今回はコロナ禍でのリモート対応という部分と、文書の保存・整理という部分を全面に出しまして、戦略会議に提出したいと思っているところがございます。

血協委員長 ありがとうございます。ただいま事務局長より説明がございました。補足説明を求めたい方はいらっしゃいますか。

古澤委員 ヒアリングの中に、交付金を以て行うべき事業があると思うのですが、意見交換会のときに、たくさん色々な案が出されたと思います。拾い上げられるものも、捨てられる案もあると思うのですが、それらの事業はそれとして、タブレット導入ということに優先順位というのですか、その辺は検討されてご返事をいただいたのかどうかというところをお聞きしたいと思います。

石井事務局長 今お話のありました、先日議員さんから提出をいただきました要望事項、その事項と一緒に、今回のタブレットも入るとい形になりますので、その提案を今度会議に諮ります。その中の一つとして、議会として提案させていただくという形になってまいります。

古澤委員 ということは、5月14日の政策会議にかけられるということですかね。同列で。

血協委員長 確認、戦略会議は10日と先ほど。

古澤委員 10日です。私の目が悪かった。

石井事務局長 5月10日戦略会議に、他の事業と一緒にタブレット導入についてもかけるという形になります。

血協委員長 他に補足説明を求めたい方はいらっしゃいますか。よろしいですか。

それでは、局長から説明のあったとおり、ヒアリングの結果はタブレットの導入にあたってはコロナ交付金を活用し、一括で購入するというようなことが、執行部のほうから事務局に指示があったということでございます。コロナの交付金を活用することによって、先般議運で決定をした、タブレット導入の目的ということで、議会運営の効率化ですとか、議員活動の拡充というような形になっておったところ、コロナ交付金を使用することによって、リモート会議ですとか、そういう非常に重要だろうということで、議会運営の効率化の中に、先ほど案で示されたコロナ禍でのリモート対応、それから文書保存、整理というようなことで戦略会議に示していくということの説明があったのですが、皆さん、このことについていかがでしょうか。

伊藤副議長 この議論の中で、予算計上について執行部に一任するという話で議会運営委員会では決まって、執行部に挙がったと思うのです。そのことについて、執行部はコロナ交付金を活用しますよ、という回答が来た中で、議会運営委員会の中で、コロナ交付金を活用して購入することが是か非かという議論はしなくてよろしいのでしょうか。

血脇委員長 そこについてですが、やはり予算要求をするにあたって、議会運営委員会の中で議論していた時に、一般財源を使うのか、コロナ交付金を使うのかというような、色々なご意見がありました。その中で、この部分は議会からコロナ交付金を使え、あるいは一般財源を使ってくれというようなことを言うべきものではないだろうと。これは、執行部が決定することだろうということで、一任するというような形になってございますので、コロナ交付金を活用するか否かについてはここで議論をする必要はないと考えております。

石井委員 議運のメンバーの発言を優先させてください。あくまでも伊藤副議長はオブザーバーでしょう。議運のメンバーが意見を言う間もなく、副議長のオブザーバーとしての意見を取り上げていくのはおかしいと思います。

今、委員長がお話されたとおり、これは決定事項です。だから議論する必要はありませんというお話で、議運の皆さんはうなずいていたのですよ。結構じゃないですか。

次に行きましょう。

古澤委員 今、両方の意見が私は一理あると思っております。

今日の要旨の中では、決定事項としてタブレット導入にあたってはコロナ交付金を活用した一括購入とすとなっていてはありますが、これは執行部がタブレット導入のスケジュールを見て、6月の補正に上程するには一般財源は当然使えないから、交付金を活用するしかないという形での返答だったのではないかと私は推測するのです。

そうなったときに、交付金を使う是非というのは、まだ全然検討していないわけですから、交付金を使うことに関して議運で話し合っても、議員全員のところでは、本当のところは把握できないのかなとちょっと思います。

そこだけ、皆さんどう考えているのか。議運で決定すればそれはそれで良い。

石井委員 決定事項として、事務局長からお話があり、議運の委員長から、これは決定事項です、というお話がありました。次に進もうとしているのに、どうしてそこに留まるのですか。であるならば、議運の全員から一人ひとり、これについて解を問うべきなのか、決定事項で次に行っているのかという話をご意見を伺えばいいと思います。

血脇委員長 議運で決定した、要するに予算をどのように一般財源を充てるのか、コロナ交付金を充てるのかと、先ほど繰り返しになりますけれども、議運の中で議論して、これは執行部に一任というような形になりました。これを、全員協議会で報告しております。

ということで、この議運の決定事項、それからヒアリングで執行部がこの先タブレット導入に向けてはコロナ交付金を活用して一括購入するのだということが示されておりますので、この先に話を進めていきたいと考えております。

古澤委員 私がここで申し上げましたのは、タブレット導入に関して、議運で決定したことがまた元に戻ったり、検討会が決めたことも参考になったのかならないのか、いろいろ考え方が錯綜しているのです。ですから、一番大事なところで交付金を使うかどうかというところの是非についてという議運の議題が最初来たので、それは納得できるころだと逆に思っていたところなんです。それが消えてしまったので、果たしてまた意見が戻ったりすることが

ないのかなという確認のために申し上げました。だから皆さんに聞かれるのだったら聞けばいいと思います。

石井委員 じゃあ皆さんに聞く必要はないですね。今、古澤委員のご発言で、委員長に確認したようなご発言でした。委員長は、決定したことを全員協議会で報告してありますということでございましたので、先に進めればいいと思います。

古澤委員 全員協議会で決めたことの中に、タブレット導入にあたってはコロナ交付金を活用した一括購入とするというのはなかったと思います。

〔「いやいや、そうじゃないよ」「違うって」と言う者あり〕

血協委員長 先般のヒアリングの決定事項が議運で今ここに示されています。このヒアリングの決定事項のコロナ交付金を使用して一括購入とすることが執行部のほうから示されておりますので、これは次の全協でヒアリング結果として報告させていただくということになってございます。

〔「そうです、それでいいです」と言う者あり〕

柴田副委員長 どういう買い方をするか、リースにするとかそういうもの、全部執行部におまかせしますということ。執行部の決定として、コロナ交付金を使いますよ、使う以上はリースは年払いになるのでリースでなくて一括購入にしますよということが示された。だから、使い方はそういうふうにするのですね、そういうふうな買い方をするのですね、わかりました、というのが今私たちの立場だと思うのです。

だから、それは今日は報告です。

血協委員長 柴田副委員長が言ったのは、これは事務局からヒアリングをした結果、執行部はこれだということを示した、それをこの議運に報告しているということでもあります。

岩田委員 この前議運で決定したことをもとに、全協で配られた資料があります。その中には、議会運営の効率化として、一つはコロナ禍でのリモート対応ということで、この資料をもとに執行部側に説明をして、それを以てコロナ交付金を使うかどうかというのは、それは議運ではなくて執行部側に一任したわけですから、その中で執行部側の決定事項として、コロナ交付金を活用した一括購入をするというのは執行部側の決定ですから、議運がそれに対し何か異議を唱えることはできないし、議運の決定としてはここにある全協で配った資料が元ですから、その中で再考を求めるとというのが、今回2点、3点あると思いますからそれを議論すればと思いますけれども。

古澤委員 私が確認したかったのは、議運が決めたのはお金の出どころは執行部に任せるところだったと思うのです。その後執行部で検討して、6月議会の上程とか色々な条件を考えたのでしょうか。タブレットの導入にあたってはコロナ交付金を活用した一括購入とする、そこで初めて決定事項とするということが言えるのではないのですか。そのことを先ほど申し上げたのですけれど。決定事項は今日初めてここで出てきたのではないのですか。

柴田副委員長 執行部側の。それを報告を受けている。

血協委員長 そう。

古澤委員 だから、執行部側に決定を任せて執行部が決定して、それを聞いたのは初めてですよ。そうでしょ。全協ではこの分に関しては報告していないじゃないですか。そうでしょ。そうしたら、先ほど皆さんなんとおっしゃいました。全協に報告したのだからこれいいと。

血脇委員長 予算をどのようにあれするかというのは、議運で色々検討されました。コロナ交付金を使った方がいいだろうとか、あるいは一般財源を使ってもら方がいいだとか、一般財源は使うべきじゃないだろうだとか、いろんな議論が今までこの中でありました。で、それを議会で決めるのは、違うでしょうと。執行部側で決定するべきで、執行部にどのような予算でやるかは一任しましょうということが議会運営委員会で決定したのです。そういうものが決定した旨を全員協議会で報告をしています。財源については執行部に一任するというので、この部分を全員協議会で報告させていただいていますということでございます。

で、今示された、交付金を使って一括購入というのは今示されたものです。これについてはヒアリングの結果ということで、次回の全員協議会で議員皆さまに報告するというような流れになっております。その他の部分、先ほど岩田委員からもあったのですけれども、執行部から再検討してもらいたいという部分がヒアリングの中であったので、それはここで協議検討をしていくというような流れで進めさせていただきたいと考えております。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

血脇委員長 それでは、ヒアリングをした中で指摘された事項として、まず、議会運営の効率化、議員活動の拡充というもので説明をしたところ、コロナ交付金を使うので、リモート対応がしっかりできるような目的をというような指摘がされたということでございます。次の5月10日に予定されている戦略会議で説明するにあたっては、議会活動の効率化というところで、A4の案で示されているとおり、コロナ禍でのリモート対応、オンライン会議の利用ですとか、文書保存、整理というようなもので、こういう目的を示して戦略会議に事務局は臨むというような御意見ですが、皆さんいかがでしょうか。

柴田副委員長 決定事項にくっついているA3のおおもとが前回配られたのですよね。皆様に。で、これをもとにヒアリングをうけたということでもよろしいですよ。そうしたら、確認です。事務局がポップ調で記載している、四角で囲んだり、白抜きの字になったりしている部分、これがヒアリングを受けた中で指摘を受けた事項という整理でもよろしいですか。

石井事務局長 御指摘のとおりです。これについては、順次使用基準等の検討を進める中でしていきたいと考えております。

柴田副委員長 それを整理して、A4一枚の案というのにまとめられたと。で、戦略会議に諮るのであれば、議員個人の活動ではなく、リモート会議をするという、要はコロナ交付金を使うにあたってこういう使い方をするというものを特出しして整理した、それを以て説明したいという案ということでもいいですか。

石井事務局長 そのとおりでございます。よろしくお願いいたします。

柴田副委員長 このA3のでっかいのは議員に対してこんな感じで、というのをまとめられたものであるけれども、要は執行部に対して、コロナ交付金を使うにあたっての肝というのは、この中から抜きだしたらこういうことになるということによろしいですね。

石井事務局長 そのとおりでございます。

柴田副委員長 議員活動の拡充というのが、公費を使う以上は議会活動だろうという指摘も受けているということですが、こういう活動は、タブレットを導入した暁には、議会としてはできることですね、プラスで。導入の調達がコロナ交付金ということであれば、その主な活用はこの二つに集約されるだろうということの理解でよろしいですか。

石井事務局長 確かに、ここに抜き出したのは議会運営の効率化というところでございますが、導入後の更なる効果としては、今後議員活動の拡充という部分にも当然入ってくると思いますので、今回は目的を明確にするために、コロナ禍でのリモート対応という部分が、当初の目的の中にも入ってございますので、コロナでスケジュールの中で入っておりませんが、2022年の1月からオンライン会議を試行するとか、そういった方向で活用できるものじゃないかと考えております。

血脇委員長 よろしいですか。戦略会議に向けて、事務局が会議への提示ということで、この目的の部分、このような形にして会議で説明をしたいということですが、皆さんご意見はいかがでしょう。

柴田副委員長 そういう整理であれば、執行部から指摘を受けた目的第1を戦略会議的にはリモートを持ってきましょうということの確認と、機種については再検討することとあるので、そこについての検討をこれからはしなくてはいけない。

血脇委員長 機種の方はちょっとお待ちください。

岩田委員 タブレット導入の目的ですから、案に示されましたように、議会運営の効率化、これまさしくそれでいいと思います。で、その結果として、議員活動、議会活動の拡充にもつながるし、市民への情報提供にもなるわけですから、それ結果ですから、導入目的は議会運営の効率化、これ1本で私は良いのではないかと思います。

石井委員 私も岩田委員と全く同じ考えです。タブレット導入の目的は議会運営の効率化ということで、このコロナ禍でのリモート対応と、文書保存・整理、この二つで示していければいいと思います。

ただ、議員活動の拡充というのが、議会活動の拡充というふうに直されています。この辺について、それから一番下の、「貸与で個人的な議員活動での利用は…」というのは、これはどういう意味なのか、説明をお願いいたします。

石井事務局長 これは多分受取り方にもよるかと思いますが、この話を聞いた中で、市民への情報提供だとか、そういう中で、例えば選挙活動とかに使うんじゃないよね、と、そういうような誤解を招くようなことも出ちゃうのではないかとというようなところがありましたので、今後使用基準の中で、そこはしっかりと定めていきたいというふうに考えています。

血脇委員長 そのほかにご意見ございますか。

徳本委員 確認なのですけれども、議会運営委員会としては議員活動の拡充とか、市民への情報提供という目的は保ったままということでもいいのですよね。あくまでも説明をするときには、コロナ交付金用途に合うものをメインで出すと。

血脇委員長 そのように捉えていただいて結構です。

徳本委員 ヒアリング結果のところ、指摘事項、1項目がちょっと引っかかると言われたのもあるし、ということで今回は絞ったということで考えているのですけれども、交付金の使い方に合うものに。2つ目のところに、会議システム使用方法が決まった上で予算化するべきということも対応したほうが良いと思います。

血脇委員長 会議システムというのは事務局がこの辺りを指摘されているということで、今後、先ほど事務局長からもお話があったとおり、会議システムについても今後検討していただきたいというようなことでございますので、これについては今後進めていかななくてはならないところと認識しております。徳本委員よろしいでしょうか。

徳本委員 私は今後ではなく、予算を要求するところで指摘されたことに答えたほうが良いという意見です。

石井委員 5月10日の戦略会議にタブレットを買うかどうかという話が出るわけで、5月10日といたらあと10日なのです。連休があと2日ありますので、会議できる日にちがあと何日もないわけです。その間に、タブレットの機種とか、会議システムとか、使用基準までは、実質的には話合いは無理なのです。

なので、今回は機種を決めて、それで会議システムと使用基準の検討は早急にすべきということが下に示されていますので、なのでスケジュールの中でも、使用基準だけの検討でなくて、同時に会議システムの検討もここに入れましょうというふうに書いてあるのではないですか。

なので、今日は決定事項2の機種のことについてを検討していかないと、戦略会議に間に合わないですよという話だと思います。

徳本委員 おっしゃることはわかったのですが、私としては会議システムの検討は重ね重ねされているのですぐに決められるという考えから意見を述べました。

はっきりと一種類のほうが多数で結果が出ていますよねという意味で言わせていただきました。

古澤委員 一点懸念があります。5月10日に戦略会議で俎上に上げられるということですが、石井委員のおっしゃった会議システムを決めて、機種を決めるということですね、それはどうしても必要かと思いますが、使用するかしらないかというところで、使用基準というのもそこで、5月10日の戦略会議に挙がってくるのではないかと思いますけれども、それはどうなのでしょう。使用基準は遅れても構わないということですかね。

柴田副委員長 最初に執行部に提案したタブレット導入スケジュールのほうに、使用基準の検討、会議システムがプラスされていますけれども、最初から入っていて、それを見た上での執行部の回答なので、そこで早いとこ決めたほうが良いよという指摘はあったけれども、

だからだめだという話ではないという認識。じゃなければ、ここにこういう話来ないと思います。

石井事務局長 指摘のあった事項で、システム使用方法が決まった上で予算化すべきだろうと言いますのは、予算計上する上での大前提のお話になってまいります。当然、計画を進める上で、総事業費とかを示さなければいけないところでございますが、今回はコロナ交付金の活用の中で、一括購入と市のほうは考えていますので、予算計上にあたっての一般的な考え方であると私は捉えております。

血脇委員長 ヒアリングのときに、柴田副委員長からもあったように、導入スケジュールの中に使用基準の検討がこの辺りから開始されるというような部分、執行部もこの辺りは表を見て、使用基準もなるべく早く決定してもらいたいというようなことだったというふうに捉えております。

それでは、戦略会議に向けて、まず目的の部分、これは事務局の案で示された形で戦略会議に事務局に臨んでいただくということで皆さんよろしいでしょうか。

〔「結構です」と言う者あり〕

血脇委員長 それでは、この案の、議会運営の効率化ということで、リモート対応という部分等を含めた形で戦略会議に事務局に臨んでいただくというようなことで決定させていただきます。

ここで休憩します。再開は 10 時 55 分とします。

午前 10 時 45 分 休憩

午前 10 時 55 分 再開

血脇委員長 会議を再開いたします。

続きまして、ヒアリングの結果の決定事項 2 で、機種について再検討することということで、ヒアリングのときに指摘を受けたということでございますので、ここにつきまして、事務局から新ためて説明をお願いいたします。

石井事務局長 それでは、おてもとに配付いたしました iPad 機種比較という横長の資料をごらんいただきましたと思います。今回、ヒアリングにあたりまして、執行部のほうから指摘のあったことといたしましては、一番最上位の機種というところの、本当に使いこなせるのかという部分での心配があるということもありまして、再検討ということになっております。なお、財政サイドからの話の中では、他の市では執行部が 12.9 インチというので提案をしたら、逆に議会側から、ちょっと重たいから変えてほしいというような話もあったというようなことも聞いておりますので、再度というお話が出てきたところでございます。

iPad の中にもいろんな種類がございまして、まず、一番左側が 12.9 インチで、議会から推薦していただいた機種になります。その次の機種といたしまして、iPad Pro というシリーズで、11 インチ、若干画面サイズが小さいもの、それから iPad Air と言いまして、10.9 イン

ち、iPad という、すごいシンプルな 10.2 インチのもの、今回この 4 つを案として示させていただいております。

なお、12.9 につきましては皆様から推薦いただいたものになりますが、最近コロナ交付金で導入いたしました鎌ヶ谷市は、右から 2 つ目の iPad Air というものを購入したという。リースだということで確認は取っております。主な違いといたしましては、当然ながら画面のサイズが 12.9 インチからだんだん小さくなってしまいう形になります。そして、スペックといたしまして、iPad Pro は解像度というところでは、やはり 12.9 インチというものが最高の解像度を示しているという形になります。そして、iPad Pro の大きな特徴としては、カメラの画素数が超広角機能というのが付いているというところがございます、そういったカメラが大変優れているというものになります。生体認証の方法といたしましては、起動するときなんですが、FaceID だったり、TouchID であったり、それぞれの機種によって異なっております。価格的にも、やはり 129,800 円から、iPad Air になりますと 69,080 円、もっと下がりますと 3 万円台からあるというところがございます。一番最後に、どんな人に向いているのでしょうかというところで、これは小原がインターネットで一生懸命探したのですが、まず iPad Pro につきましては、パソコンとしてがっつり使いたい人、それから、動画編集や絵を描く等の重めの作業をしたい人、また、FaceID を使いたい人などに向いているということです。それから、iPad Air については、音楽、動画、アプリ等のダウンロードをたくさんする人、パソコン、タブレット両方使いたい人に向いていると。iPad につきましては、すごく金額も手ごろなことから、なるべく安い iPad が欲しい人、スペックと価格のバランスが取れた iPad が欲しい人などが挙げられております。この後、二つほど機種のサンプルを持ち込んでおりますので、よかったら実際に触っていただければと思っております。

血協委員長 それでは、局長のほうから機種の中で説明をいただいたところがございます。

ここでちょっと意見をとと思うのですが、今、局長からあったのですけれども、iPad Pro12.9 と、iPad で、デモじゃないのですけれども、私物になりますが、それをちょっとご用意いただいておりますので、今から休憩を取りまして、実際に簡単に触ってみる時間を取りたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

血協委員長 それではここで休憩をします。実際に触れていただいて、その後に皆様からご意見を伺えればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

午前 11 時 1 分 休憩

午後 11 時 11 分 再開

血協委員長 皆さん自席につかれたようですので、会議を再開いたします。

ただいまの休憩時間中に、実際にタブレットに触れていただいたところで、再検討という指摘がされておりますので、これについて皆さんのご意見をお伺いしたいと思っております。

石井委員 私が前回だったか、機種はどれにしますかと聞かれたときに、タブレット導入検討会の皆さんが時間をかけて色々検討していただいた結果なので、iPad Pro12.9インチが良いのではないですかと提案させていただきました。

しかし、この一覧表の、どんな人向けというところを見たら、iPad Pro12.9は、PCとしてがっつり使いたい人とか、動画編集や絵を描く人という、私は全然ここには当てはまらないなと思いました。そこで、右から2番目の第4世代というやつは、鎌ヶ谷が現在全議員さんが持っているということで、今ちょっとiPad Pro12.9を持たせていただきましたが、重さが全然違うということで、それからどんな人向けというところでは、アプリや何かのダウンロードをたくさんする人とか、PC、タブレット両方で使いたい人はこの第4世代が良いということであれば、私はこの第4世代が良いなというふうに思いましたので、意見を変えたいと思います。

岩田委員 私も導入検討会のメンバーでもあったわけですが、大きい方が現場で使うには見やすいし、良いのではないかなと。大きい方が見やすいのではないかなと思いました。しかし、今日実際に実物を拝見させていただきました。なおかつこの、機種の比較、金額の比較等を見ますと、1番軽いもの、金額的にも、執行部のほうからは機種については金額もありますから再検討をとということもありました。なので、私も同じように11インチも10.9インチもそんなに変わらないのであれば、金額が25,000円くらい違いますから、11と10.9ではね。この10.9インチのiPad Airですか、それがいいと思います。ただ一つだけ、これはこの後の議題になるかわかりませんが、この導入スケジュール案の中にある、今年の12月で紙・データ併用となっていて、来年の3月議会では完全なペーパーレス、試行部からの送付はデータのみというのがありますけれども、そうではなくて、まず慣れるまで、当面我々の任期中は紙とデータで併用していただくことを条件に、10.9インチで私はいいいと思います。

田中委員 私も、今持たせていただいたり、見させていただいたりしましたけれども、iPad Airですか、これでよろしいかなと思います。ちなみにうちの会派の他二人とは、機種に関してはお任せしますという話になっていますので、会派の考え方として考えていただいて結構でございます。

伊藤副議長 この比較の中で、機能についてはあまり話出ていないようなのですが、これ、機能は皆同じというふうに考えていいんですか。

血脇委員長 機能と言われると、私答えられない部分があるのですが。専門家ではないので。もしも事務局のほうである程度資料等を見た中でそのあたりの説明ができるようであればお願いをしたいと思います。

石井委員 今のオブザーバーの伊藤議員のお話の結果を見なければ、議運の皆さんのご意見は聞けないのですか。できれば議運の皆さんのご意見を先に聞いていただきたいと思いません。

田中委員 先ほどお話がありましたように、鎌ヶ谷市議会でも同じものを使っているということであれば、議会として、議員として使う分には十分だと私は判断させていただきます。

植村委員 今2台見させていただいて、使い勝手はどちらも同じような感じがして、せっかくタブレット検討会の方が12.9インチということで出されたのですが、執行部からも機種についてはということがありましたので、自分もこのiPad Airでいいと思っているのですが、一つだけ引っかけることがあって、これからは5Gの時代だと言われていて、その機能を使える、使えないは別としても、色々な点で広がりがあるのかなと思うので、自分は真ん中の二つのどちらかを決めかねているのです。というのは、11インチかiPad Airの場合は5G対応ができるというふうになっていまして、このどちらかが良いかなと思っています。

石井事務局長 当市で導入予定の機種はWi-Fiタイプですので、5Gは影響がないということでございます。

植村委員 影響がないというのはどういうことなのでしょう。

石井事務局長 Wi-Fiモデルになるので、5Gに対応する機能がない。Wi-Fi対応になってしまうということです。

植村委員 それであれば、安価なほうでいいかなと思います。

徳本委員 今日機種を決めて、5月10日に出してゴーサインを出すというのは無理じゃないかなと思います。

というのは、コロナ交付金を使うということを市が決めた上で、リモート会議を重視する意見が出てきたのですよね。それで、Wi-Fiというのはリモート会議をする上で、自宅とかでないとできないということで、リモート会議を重視するのであればセルラー方式のほうが、災害時どこにいても利用できるという面で有利だということを聞いています。

と考えると、コロナ交付金を使うことを説得材料とするのであれば、Wi-Fiありきということも考えなければいけないと思いますし、私たちが予算を審議するとき、目的と方法と、お金が決まっていなくて審議できないと思うのですが、さっき意見を言ったままそのまま機種の再検討に入ってしまったのですが、会議システムというのは値段に関係ありますし、使用基準というの、細かい文言まで決めなくてもいいけれど、こういう活動に使うというような目的ともすり合わせてある程度出さないと、やはり予算としては不十分と思うのです。そういったことを、市の指摘と、市が決めた財源というものを考えると、今回機種を決めただけで予算要求するのは無理があると思います。私も伊藤氏のご指摘のとおり、この4つの中で何ができるのか、決めるのが難しいかなと思っています。

何に使うかという方法を決めないと、その方法を実行できるのはどれなのかということもわからないし、ちょっと焦りすぎかなと思っています。会議システムもこれからゆっくり決めるのであれば、全体的に見直した方が良いのではないかと思います。なので、機種は決められません。

秋谷委員 私自身はあまりこういうことに詳しくないので、先ほど鎌ヶ谷市がこれだということを決めたということは、鎌ヶ谷市も色々審議の上、それに決めたと思うので、値段も半分近くなっています。私が使うにすれば、あまりいいものは使えないので、できれば、値段だけではないのですけれども。

先ほど岩田委員が言われたのですけれども、紙とデータ併用。3月になると、執行部はデータのみとなっているので、私はできれば、完全ペーパーレスであっても、そういう気づかいとかしていただくと助かるのですけれども、機種としては iPad Air 第4世代でいいと思います。

柴田副委員長 まず、Wi-Fi かセルラーかについては、私が提案をしようと思っていたのを徳本委員が言ってくれたという感じです。

Wi-Fi だったら、委員会とか議場でみんなで持ち寄って、そこでWi-Fi でいろいろ検索するとかやればいい話で、リモート会議がメインになるのであれば、どこにいても会議ができるという環境を整えるというのも入ってくる。その指摘を受けていると受け止めれば、Wi-Fi では不十分であって、セルラーにすべきであると。セルラーのほうは、一台につき15,000円程度高くなります。それと月々の通信料がかかってくるのですけれども、これもどの程度のもを通信に使うかというのを検討した上で、値段が色々変わってくるので、Wi-Fi 環境のない人はポケットWi-Fi 買いなさいよと言って、毎月5,000円くらいずつ取られるのに比べれば、セルラーのほうが安い、というようなことも考え合わせれば、Wi-Fi で決めましたけれども、リモートを大事にするのであれば、セルラーという選択肢をもう一回付け加えたほうが良いなと思います。それを合わせて申し出ていただきたい。

要は、執行部は、リモートなんだから、その環境を整えないと、という話。だから、Wi-Fi は不適合というのが一つと、あと、あくまで今回については、リモート会議にするからタブレットという理由付けを執行部のほうで付けてくれているわけなので、その場合については会議システムは必須ではないわけです。会議システムは早めに検討しなさいよ、ということを受けて早急に検討を開始するという状況の中で、コロナ交付金を使うということでは、タブレットを買い、リモートの設定をするということが目的となると思うので、会議システムは来るまでにちゃんとできるようにしておくということと、使用基準の検討を、私的なものに使うのですか、と言われたら、そんなことには使いません、これも早急にきちんと決めますけれど、そのことには使いませんということを取りあえず知っておいていただければ、今回の予算の中身としては、リモートに使えるタブレットを導入するということの目的としては、そうなのではないかなと思います。

機種は賛成です。iPad Air で。

徳本委員 柴田委員の発言を受けて質問。会議システムを決めなくても予算要求できるということなのですか、そうすると、会議システムにかかるお金というのは、コロナ交付金とは別でまた予算を付けることになるのですか。

石井事務局長 会議システムを今回のコロナ交付金で対応するという考えはございません。

コロナ交付金の申請期限が7月で決まっておりますので、その中に入れるのは難しいと考えております。早急に導入する検討を進めた上で、事務局としては、一般財源になると思いますけれども、当初予算に計上できればと考えております。

あと、先ほど導入目的の中で、3月議会でペーパーレスをするというような表現がございます。執行部といたしましては、データでの提供に限定するというふうにとれますけれど

も、事務局で必要であればペーパーにしまして、お配りさせていただくことは全然可能でございますので、誤解のないようお願いいたします。

血脇委員長 Wi-Fi でヒアリングをしていただきましたが、リモート対応ならセルラー方式のほうがコロナ対策にふさわしいというご意見といただいているところですが、話が横に行くようで申し訳ないのですけれども、考えたほうが良い部分もあるのかなという気もしなくはないのですけれども。

岩田委員 リモート対応というのは、あくまでもこの委員会室だけでやることではなく、例えば、3密を避けるために、Wi-Fi 環境のある会派の部屋に分散してやるとか、他の会議室でやるとか、自宅でやるとか、そういうことを指摘しているのです。災害時に、避難所、山の中とか、そういうことになるとすると、執行部側のタブレットも同じようにセルラー方式のものを持っていないと、できないわけです。その議論は私は違うと思うのです。あくまでもリモート対応であれば、この庁舎内とか、どこでもばらけてできるし、自宅からでもできるので、Wi-Fi 環境の整ったところからであれば十分 Wi-Fi 方式でいいと思います。

石井委員 事務局に伺いたいのですが、全議員 21 名で、ご自宅に Wi-Fi 環境がなく、リモート会議が自宅ではできませんという方はいらっしゃいましたか。

石井事務局長 以前デジタル環境アンケートをさせていただいた中で、自宅 Wi-Fi が不明ということで回答いただいている方が 1 名、ないという方が 1 名いらっしゃいます。

2 名のうち 1 名は Wi-Fi を入れられたと聞いております。

血脇委員長 21 名中 1 名が Wi-Fi 環境が不明ということで。

石井委員 それでは、セルラー、Wi-Fi、そこら辺の議論になる前に、まずは機種の方からと思っております。まだご意見をおっしゃっていない委員さんもいらっしゃいますので、ちょっと確認したいと思っております

古澤委員 大きさから言えば、12.9 インチがいいと思いますけれども、執行部の考え方とか、色々皆さんのご意見を伺ったら、iPad Pro11 インチか iPad Air かどちらかだろうなというところまでは絞れました。

先ほど徳本委員のおっしゃったことはもっともなことだと思います。iPad Pro か iPad Air かどちらにするかという理由付けがわかれば、私もどちらかに決まるとは思いますけれども、今の段階ではどちらかに決められません。どちらかと言えば、高いけれども iPad Pro11 インチのほうが良いのかなというふうに思っています。

血脇委員長 iPad Air が良いというご意見と、iPad Pro11 インチかどちらか決めかねているというようなご意見もいただいているところですが、さてどないしましょう。

柴田副委員長 セルラーと Wi-Fi のことも出てきたので、二つで決めかねているのでしたら、この二つを持って帰ってどうしましょうねという検討をするというのもありではないかなと思いますけれども。

植村委員 これは自分の考えなのですが、ここに出ているタイプで決めちゃったら良いと思います。

これはなぜかという、ほとんどの議員が家にWi-Fiが整っている。そして、携帯のない議員っていないですね。そうすると、リモートという面で行けば、zoomを一回設定してしまえば、携帯から使うこともできます。

そうすると、何処に行ったって携帯を忘れる人はいないと思うけれど、iPadはちょっと重いし大きいので、場合によったら忘れるということがあるかも知れないですけれども、ほぼどこにいても、携帯さえあって電波が届くところであれば、何とか対応ができると思うので、自分はセルラーではなくても、ここに出てくるタイトルでいいのかなというふうに思っています。

柴田副委員長 セルラーかWi-Fiかについては、今日出された議論なので、議運の決定ではWi-Fiですけれども、どこまで、目的がコロナということで申請する分にはいいけれども、実は議員としての活動として、市民への情報提供するとか、例えば外でこういうことでと資料を見せるとか、そういうような活動もあるだろうというような話が出ていましたよね、目的を決めるときに。

それと、例えば災害関係のときには、Wi-Fiのあるところに避難するとも限らないし、議員間の安否もタブレットでするようになるわけですね。そうすると、どこに行っても大丈夫というふうなことも考えなくてはいけないというふうなことでまで広げて考えるのか、それとも本当にリモート会議だけなのだということで、うちにいてやるのでしょうかというところでWi-Fiでいいとするのか、そこももうちょっと考えてもらいたい。私はやはりさっと取り出して、そこでつながるといふことの便利さといふことは、代え難いものがあるなと思っているので、ここで執行部に戦略会議に諮るのであれば、そこも含めた中身にしてもらいたいなという思いはあります。

でも、それを決めるのも執行部にお任せしますというのであれば、ちょっと決めかねているけれどこれで検討をお願いしますということになるのかもしれない。

血脇委員長 10日に戦略会議があるということですので、そこまでには機種の変更を再検討をした結果を出さないと、事務局のほうも非常に困ると思いますので、そこ前には結論を出したいと思います。

ここで決められれば一番いいのですが、先ほど持ち帰ってという意見もございましたので。もしあれでしたら、今日ここで結論を導き出すのではなく、戦略会議に間に合う時までに結論を出してというような方法も。皆さんいかがでしょうか。

石井委員 今、機種のことを話しています。機種比較表の4つの機種について、皆さんで先ほどから議論をしています。

お一人の方が第3世代、iPad Pro11インチというのが良いとおっしゃっています。そして、右から2番目、iPad Air 第4世代、これが良いだろうとおっしゃっている方が6人でした。そして、お一人の方が今日は決められないというご意見でした。その人数はまず間違いないでしょうか。

血脇委員長 間違いないです。

徳本委員 少なくとも私と古澤さんは、今日は決められないと。だから、決められない人は一人ではない。

血脇委員長 ですから、古澤委員は11インチ、あるいはAirで決めかねているということ。徳本委員は、機種の中のこれだあれだけではなく、決めかねているということですよね。

石井委員 訂正です。お一人は今日決められないとおっしゃっている。そしてお一人の方は、右から2番目の11インチではなく、11インチなのか、となりの第4世代なのか、このどちらかで決めかねているというご意見でしたか。

古澤委員 私はそうです。

石井委員 わかりました。

徳本委員 私も決められていないのは、第3世代と第4世代の二つですね。というのは、5Gマルかバツかというところで、セルラーかWi-Fiかで関係すると言ったので、そこが決められないということなんです。セルラーの問題を出している人は3人は少なくともいますよね。

血脇委員長 そうですね、セルラーになってくれば、第4世代というのは5Gは対応できないということになりますから。

石井委員 Wi-Fiかセルラーかという議論をまたこれからすると、時間がないと思うのですが、ちょっと確認したいのは、例えば第4世代のiPad Airなんですけれども、これにセルラーを付けることは可能ですか。

血脇委員長 それは可能です。

柴田副委員長 基本がWi-Fiモデルで、それにSIMをくっつける、それが15,000~17,000円、一台につきかかるから、かける24台、ちょっとその分だけ高くなる。プラス通信料。

石井事務局長 Wi-Fiモデルを買ってしまいますと、iPadについてはSIMがさせないという。どちらかを選択しないと、途中で切り替えることはできない形になります。

岩田委員 確認ですが、私先ほど発言しましたが、議会内だけの安否確認とか協議会であれば、セルラーでもいいのですけれども、本会議とか委員会、執行部と議論するときには、執行部側にタブレットがあるのかどうか。そのタブレットにはセルラー機能があるのかどうか。ないのであれば、本会議はできないですよ。

今、Wi-Fi環境下にないところにいるから、セルラーにしましょうということではないのですか。Wi-Fi環境にいれば、セルラーにしまったって、Wi-Fiのままでもいいわけでしょう。何の議論をしているのですか。

柴田副委員長 Wi-Fiはここも、委員会室も、本会議場も設置されるから、ここで会議をしている分には執行部が入ろうが何しようがWi-Fiを使って会議をすればいい。でも、それはリモート会議ではないでしょう。リモート会議というのは、自宅で戻ってとか外にいるときとかに、どこでもつながられて、緊急、災害時とか、家を出てこれないとか、どこかに避難してとか、そういう時でも繋がって話ができる状態にするのがリモート会議なので、それに対応するには、Wi-FiというのはWi-Fiの環境がなければできない。セルラーというのは電

話と同じで、電話がつながるところだったらどこでも繋がるから、そちらの方がリモート会議という目的であればふさわしいのではないのでしょうか。

岩田委員 リモートですから、離れたところからできるということでしょう。で、今 Wi-Fi 環境でできるわけでしょう。植村委員から発言がありましたけれども、災害時、避難所とか Wi-Fi 環境のないところであれば、皆さんスマホを持っているわけですから、安否確認とか、色々な情報交換はできるわけです。本会議とか委員会であれば、執行部側も同じタブレットを持っていないといけない。それが無いんでしょという確認です。あるんですか。

血脇委員長 執行部側がセルラーのタブレットを所持しているか。

石井事務局長 現状では所持していないところです。

田中委員 先ほど自宅に環境がないという方がお一人。ですから、そこをどうするかだけでよろしいと思うのです、このまま出せば。

石井委員 私もそう思うのです。もう機種が、多くの方が iPad Air というふうにおっしゃっていて、問題はセルラータイプか Wi-Fi タイプにするかというところで、今躓いているのであれば、まずはこの先いつ来るかわかりませんが、災害のときにはまずやはり植村委員のおっしゃたように、携帯を持って飛び出すと思うのです。それから、まず会議というのは、今だったらコロナ対応というのは密を避けるのだから、委員会室に 10 人も 20 人も集まるのではなくて、会派の部屋、あるいはご自宅で、環境の整っているところでやるでもありだと思うのです。何が何でもセルラータイプ、というふうにしなくても、私は良いのではないかなと思っています。

古澤委員 できましたら 5 分ほど休憩をいただけたらと思います。委員外の方が大分いらっしゃるので、ご意見を聞いてみたいなと思っています。

血脇委員長 わかりました。それではここで 5 分ほど休憩して、55 分に再開させていただきます。

午前 11 時 50 分 休憩

午前 11 時 55 分 再開

血脇委員長 会議を再開します。

古澤委員 休憩を取っていただいてありがとうございます。他の方からご意見を伺ったのですが、なかなか収れんすることがいまだにできていません。委員外の議員さんからも、リモートの場所がわからないし、オンライン会議の想定というのもよくわからないというご意見も出されておまして、私は私のわかる範囲内で先ほど真ん中の 2 案のどちらかというふうに申し上げましたけれども、まだどちらがいいということは言い切れません。

田中委員 私は、セルラー方式の見積、これが必要かなと思います。どのくらいお金がかかるのか、その後の経費も当然かかってくると思うのです。ですから、金額を、今日というこ

とではなく、時間を欲しいという会派さんもありましたので、今日は見積をお願いして、次回のお話にしていただければと思います。

血協委員長 田中委員、確認です。見積なのですが、iPad Pro の 11 インチの第 3 世代のセルラー方式、それから、iPad Air のセルラー方式、こちらのほうの見積をお願いしたいということでしょうか。

田中委員 はい。

石井事務局長 いずれにしても見積については取りますので、対応できると思います。

血協委員長 それでは、真ん中の 2 機種 of セルラー方式にした際の見積を事務局に取っていただいて、機種を改めてどれにするかということをおの後に決定づけたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

古澤委員 次回議運を開くときは、会派の意見がある程度取りまとめておいたほうが良いのではないかと思います。で、会派がないところは事務局が聴取するとか、あるいはどこかに頼むとか、やはり全員意見が違いますので、議運が主体となってやっていますけれども、議員全員の意見の聴取というのはある程度必要ではないかと思います。

血協委員長 今日結論出ておりませんので、次の議運で概ね方向性を出したいと思っております。議運のメンバーの方々、会派等を含めて、皆さんの意見を聴取しておいて、次の議運に臨んでいただきたいと考えております。

柴田副委員長 iPad 機種比較には容量が入っていないのですけれども、色々資料を入れるにあたって、容量がぱつんぱつんにならないような、こちらの別の資料に 128GB と書いているので、そういうつもりでよろしいですか。

石井事務局長

容量について、手持ちの資料で回答させていただきます。まず、12.9 インチについては、129,800、これが 128GB、11 インチの iPad Pro の 128GB、iPad Air は 64GB、iPad は 32GB でございます。

血協委員長 この後、見積を事務局から準備していただいて、方向付けの決定をさせていただきたいと考えております。

今日の議題の (1) の機種について再度議運を開いて調整を図るということで進めさせていただきます。

以上、議題 1 でここで何かございますか。

徳本委員 セルラーか Wi-Fi かということで意見を集めてくるということですが、ちょっとそれに関連して、タブレット導入の目的はコロナ禍でのリモート対応というふうに限られているのですけれども、セルラーが必要という意見の中には、コロナ禍で、家が離れてできればいいという問題ではなく、災害時、どこにいてもという話も出ているので、ちょっとこの目的も少し意見を集めてきてくださるといいかなと思います。コロナ禍というのは限定的なので、これからずっと使う上で災害ということをおの頭に入れたほうがいいのかなと思いました。

というのと、完全ペーパーレス化というところは削除してほしいです。そういう話は載せないことになっていたはずなので、載せたけれども大丈夫ですというのではなく、紙で続けたい人も保障するという約束で進めてきて、目的にはペーパーレス化を入れなかったし、効果の検証もできていないことなので、これは執行部が入れただけの話なので、予定からは。紙・データ併用までだったら大丈夫ですけれども。

血協委員長 3月議会のペーパーレスと書かれているのですけれども、完全ペーパーレスという意味でここに掲載されているわけではないということで、先ほど局長からも説明があったとおりです。紙でも対応するというご理解をくださいというようなお話を先ほどいただいているところですので。

戦略会議にあたってペーパーレスと書かれているのですけれども、ここに何らかの文言を加えて、もうちょっと柔らかい雰囲気のものにすることは可能かなと思いますので、訂正させていただきますので、よろしく願いいたします。

徳本委員 怒りの声もあったので、最初に発言できなかったのですけれども、今日の会議中についておかなければと思うので言います。血協委員長も、財源はコロナ交付金か、一般財源かとか、いろいろな意見が出て話し合ったけれども市に任せることにしたと何度もおっしゃったのですけれども、私の理解ではコロナ交付金という選択肢は出ていなかったと思っているのです。出た上で任せたのですか。

血協委員長 出ています。

徳本委員 私は、コロナ交付金を使うということで市民のために使う提案をした中に、一律に混ぜてしまうことへの懸念を、古澤委員もおっしゃいましたけれども、私も同意見です。そこに混ぜてしまう、財政推計にないから混ぜて出せるように、それに合わせて使い方も考えるというのはちょっとおかしいなと思っていることは言っておきます。

血協委員長 コロナ交付金、そんな話は出ていないのではないかとということですが、出ています。コロナ交付金を活用してもらったらどうだという意見が出ました。ただ、それは議会で決めることではないだろうということで、執行部一任という形になっています。

石井委員 それでは、最後の確認です。今日話し合った内容の決定のものについてなんですけれども、局長から出していただいたタブレット導入の目的は議会運営の効率化、これ一本で、コロナ禍でのリモート対応と文書保存・整理という二つで戦略会議に持って行きますよというペーパーをお示しいただきました。この上に（案）とあるのですけれども、導入スケジュールより上は今日決定したということで、（案）を消してもよろしいでしょうか。スケジュールには触れていませんから、スケジュールは案になります。

柴田副委員長 コロナ交付金を使うからコロナ禍と特定したけれども、災害時も当然あるでしょうという意見も出ていたので、コロナ禍、災害時というふうにするのかはちょっと話し合ってもらわないと。

血協委員長 徳本委員から災害もこの中に入れたほうがというようなご意見もあったのですけれども。入れたいいものっていっぱいあると思うのです、細かく掘り下げていけば。とい

うことで、この中に災害時対応という文言を。コロナ禍で災害というのはどうなのかなという。コロナも一つの災害ですからね。

田中委員 今回コロナの交付金ということなので、私はこのままでいいと思います。

それで、リモート対応ができるということは、災害時でもやろうと思えばできるわけです。Wi-Fiでもセルラーでも。文言に関しは簡潔にこのままで結構だと思います。

石井委員 私も同感です。局長が予算の会議のときに、その前の大きいほうのデータをお示しして、執行部に問いただしているわけです。執行部はコロナ禍でのリモート対応という、オンライン会議の利用、資料の一斉配布が可能、ここについて最優先の目的になりますよねというご意見を下さっているわけですから、これをまたいじくってあれを付けてこれを付けてというのはよろしくないと思います。

血協委員長 みなさん、このままでよろしいでしょうか。

徳本委員 そういうふうに、執行部の意向を汲む方針にするのであれば、指摘事項である予算化する前に会議システム、使用方法もというところもちゃんと重視してください。やらないでいいというふうにしないでください。

血協委員長 やらないとは言っておりません。これは、速やかに進めていくということですので、そのあたりはご理解をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、議会運営の効率化というのを戦略会議で資料として執行部に出していただくということ、それから、機種については、持ち帰って会派の皆様のご意見等を含めて聴取していただき、次の議運で検討してまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

タブレットの議題1のところでも他にご意見ございますか。

〔「ありません」と言う者あり〕

血協委員長 それでは議題1を終了いたします。

◎議題2 その他

血協委員長 —5月7日13時半、11日13時半に議運開催の案—

田中委員 午後に組合議会です。

植村委員 午後です。

田中委員 午前中であれば大丈夫です。

血協委員長 事務局のほうで組合議会に関わる時間を確認しておりますので、ちょっとだけお待ちください。

〔「10時からだ」「逆だ」と言う者あり〕

田中委員 組合議会の開会は10時です。

血協委員長 すみません、事務局に確認に行っていたところなのですが、12時も回っていますので、5月7日、5月11日、ともに13時30分から議会運営委員会を開催するというので皆さんよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

血協委員長 それでは、ご参集を賜りたいと思います。

他に、委員の皆様から何かございますか。

〔「ありません」と言う者あり〕

議長からありましたらお願いします。

長谷川議長 ありません。

血協委員長 事務局からありましたらお願いします。

石井事務局長 ありません。

血協委員長 他にないようですので、以上で本日の議題はすべて終了いたしました。よって、議会運営委員会を閉会いたします。長時間にわたり慎重なるご審議を賜りありがとうございました。

お疲れ様でした。

午後 0時14分 閉会